

舞鶴中ブロック小中連携校整備の基本的な考え方（概要）

1 学校再編の背景

- 少子化の進行
 - ・合計特殊出生率の低下と世帯構成の変化
- 児童生徒数の減少により全市的に小規模校が増加
 - ・特に天神地区などの都心部で小規模化が顕著

2 舞鶴中ブロックの課題

- 全ての小中学校が小規模化
- 私立学校への転出傾向が全市平均の3倍
- 校舎が老朽化して建替えが必要
- 城内にある舞鶴中の移転が必要

3 統合にあたっての保護者・地域との合意事項

都心部の小規模校化は、少子化・世帯構成の変化の影響が極めて大きいため、「子育て世帯の都心居住を誘導する魅力ある学校づくり」に取り組む（取り組みの柱）

- ・教育内容が充実した公教育の実現
- ・施設の充実による地域の利便性向上

4 小中連携を中心に据えた教育内容の充実

小中教員相互の連携強化によって指導の充実を図る。

義務教育 9 年間を通した指導・積み上げ																											
小1		小2		小3		小4		小5		小6		中1		中2		中3											
前期								接続期								後期											
学 習 内 容				基礎的・基本的な知識、 技能の取得と定着								知識、技能の活用と さらなる取得								進路を見据え た知識、技能 の補充と発展							
指 導 体 制				学級担任制（少人数学級）								一部教科担任制								教 科 担 任 制							
				少 人 数 指 導（習熟度別学習，課題別学習）																							
特 別 支 援 教 育				小 学 校（小学部）教育課程												中 学 校（中学部） 教 育 課 程											
				9 年 間 を 通 し た 就 学 指 導 ・ 自 立 や 社 会 参 加 の 支 援 等 の 積 み 上 げ																							
家 庭 学 習				学 校 で 授 業 の 予 習 ・ 復 習 や 宿 題 を 行 え る 仕 組 み づ く り																							

5 施設整備の基本コンセプト

施設一体型小中連携教育による教育力の向上

- ・小中施設を一体化し、子どもの交流と小中教員の連携を充実
- ・少人数指導など多様な学習形態への対応
- ・9年間を通した特別支援教育の充実
- ・学校における家庭学習支援

安全・安心な地域の基幹施設

- ・災害に強い施設、死角のない施設

学校施設の有効活用による魅力ある地域の形成

- ・屋内テニスコート、温水プール、特別教室などの開放
- ・動線の区分、セキュリティの確保

6 舞鶴中ブロック小中連携校の整備方針

6-1 前提条件

- スケジュール管理
 - 設計期間・工事期間の適正管理
- 敷地条件
 - 現舞鶴小用地13,000㎡の高度利用、検察庁・少年科学文化会館の取得時期との調整
- その他の条件
 - 舞鶴公民館・老人いこいの家の併設

6-2 施設構成

- 重点化する項目
 - 小中施設の一体化、特別教室の高度利用、職員室等の小中共用化、学習室やランチルームの整備、プールの温水化、公式試合の体育館整備

6-3 施設整備に際しての基本的な考え方、配慮事項

- 施設一体型小中連携教育における配慮事項
- 高層化に対する配慮事項
- 地下活用に対する配慮事項
- 災害対策上の配慮事項
- 環境上の配慮事項

6-4 配置計画等の考え方

- 配置計画、ゾーニング、校舎へのアプローチ、校舎の高層化への対応